

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

中区・磯子区・金沢区
まちなかど
政治版

政治の安定から暮らしの元気を創ります



自民党公認
松本純

**前防災大臣、
国家公安委員長の
経験を活かして**

●2012年12月、安倍内閣は「デフレからの脱却」を掲げ、画期的なアベノミクスを断行、株価は政権交代前の9,000円前後から20,000円へ、完全失業率は政権交代前の4.3%から2.8%に落ち着き、有効求人倍率もハブル期を超える1.52倍と43年ぶりの高水準へと達しました。その一方で、少子高齢化、異常気象、外的脅威などの問題が改善されたわけではありません。
●この改善には長期計画とそれに基づき継続的かつ柔軟な対応が問われます。そのために必要なのは、安定した政治です。
●松本純は、「政治の安定」のため全力を尽くします。



www.jun.or.jp

**命を守り抜く。防災、減災で、
安心・安全な街づくりを進めます。**
●防災大臣、国家公安委員長の経験から、強く学んだことは、もしもの時の予防策の大切さと初期対応の重要性です。いつ勃発するかわからない自然災害や外的脅威等から皆様の生命と財産を守り抜きます。

**いとなみを守り抜く。安心して
生業が持続できる政治を続けます。**
●日本の企業のうち大企業は0.3%、そして、労働者の約7割は中小企業に勤めています。この両輪が稼働してこそ、安心な暮らしと社会福祉が成立するので、生活者が日々の営みの充実を実感できる政治を続けます。

**海洋国家日本、その玄関口横浜。
新たな街を創ります。**
●日本は海洋国家であり、日本最大の玄関口が横浜です。古き良きものを大切にしながら、時代に対応した大型旅客ターミナルの建設や新コンベンションセンター、新交通システムなど、街の人にも愛され、内外からの来街客にも対応できる都市計画を横浜市と連携して支えます。

まつもとじゅんプロフィール
●第3次安倍第2次改造内閣(平成28年8月3日発足)で内閣府特命担当大臣(防災・消費者及び食品安全)(海洋政策)を歴任
●昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ。本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師。本町小PTA会長、横浜J.C専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組み
●平成8年、衆議院総選挙で初当選。専門を生かし年金・医療・介護などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人となる
●平成20年、厚生労働省副大臣に任命される
●平成24年、厚生労働委員会委員長として法案審査の促進をはじめ国政調査に携わる



立憲民主党公認
しのはら豪

**まっとうな政治。
正々堂々と!**

**ブレず、筋を通して、
愛する日本のために。**

**なぜ立憲民主党
なの?** **なぜしのはら豪
なの?** **なぜ地元出身が
大切?**
分断と排除の政治が、今の政治に怒りや危機感を持つ、多くの国民の暮らし、現場のリアルな声に根ざした、ポトムアップの政治を実現する。それが私たちの描く、日本の未来です。私は市議時代の実績が評価され、国会議員として、愛する地元の方々と積み重ねた経験、時間こそ、政治の本質部分に大切にしたい。これからは、これからの未来を、大切にしたい。聞きます!

**改革の先頭に立って!
日本の未来を描きます。**

- GO 1** 1日も早く原発ゼロへ。
●「自然エネルギー立国」に電力自由化で、相対的に高コストな原発を削減し、再生可能エネルギーの普及を促進する。
- GO 2** 現実的な日本の外交・安全保障政策。
●憲法違反にもとづく日本の外交、現実的な安全保障関係の構築。今の安全保障環境に即応し、立憲主義にもとづく現実的な法整備を推進する。
- GO 3** 生活の現場から暮らしを立て直す。
●誰もが実感できる経済成長。●実質賃金上昇による中間層の再生。●保育、教育、医療、介護分野の資金底上げ。女性の雇用・賃金差別撤廃。●誰もが安心して暮らせる社会。よりよい社会ビジョンの提示。
- GO 4** 次代に責任、子どもたちのために。
●子供たちが将来にツケを回さない。●責任ある未来への取り組み。●地域の権限で多様な子育て支援サービスを提供する制度の構築。●誰もが学ぶ機会を確保できる社会の実現。学力格差の解消。
- GO 5** 社会保障制度改革、先送りにNO!
●消費増税分の公共事業費用を止め、社会保障(年金、医療)を維持する。●同分野同一資金法を制定し、正統、非正統の区別ない労働制度の構築。●医療と介護の切り目のないサービスを提供。入院の継続問題を解消。
- GO 6** 身を切る改革、行政情報公開
●議員定数の減、歳費30%削減。国と地方自治体との関係を適正化。●次代にツケをまわすバラマキ事業を省き、財源は生活現場の方向へ。●森友、加計問題の本質、権力と行政の癒着を情報公開で徹底撲滅。

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

愛する地元から国を変える 幼少時代から磯子区で育ち、金沢区選出の横浜市議として、中区市会で働き衆議院議員に!
プロフィール 1975年2月生まれ 早稲田大学大学院政治学専攻修士課程修了 早稲田大学卒 逗子開成中学・高校卒(ヨット部OB会)
横浜市立杉田小学校卒 岩崎学園磯子幼稚園卒 米カリフォルニア大学サンディエゴ校Web Publishingサティファイアード
【経歴等】外務委員会理事/政調副会長(民進党)/行政改革調査会長-国会対策委員長(維新の党)/横浜市議/記者-雑誌編集者/クリエイティブディレクター-ほか

議員立法数 NO.1
全ての議員 (190国会)
質疑時間 新人第1位
質問回数 (190国会)



長島一由 の政治・政策 基本方針

- 希望の政治** しがらみのない政治
徹底した情報公開/真の地方分権の確立
議員定数・議員報酬の削減
- 希望の社会** 女性政策などダイバーシティ社会の確立
多様な教育、働き方改革
- 希望の経済** 景気動向を見据えた消費税判断
実感できる景気回復の実現
雇用のミスマッチの解消
- 希望を守る環境** 原発ゼロとゼロエミッション社会への
行程作成
市民の側に立つ環境保全
- 希望の憲法改正** 憲法9条の平和主義の理念をまもり、
「知る権利」の明記による情報公開の推進
憲法93条・94条の改正で多様な地方自治の確立

私たちが、希望の党 神奈川1区 (中区・磯子区・金沢区)

**しがらみのない政治を
実現します!!**

7月30日の横浜市長選挙では、完全無所属ながら多くの皆様にご支援頂いたものの、次点となりました。しかし、既存の政治や既成政党への不信感の高まりを感じ、掲げた政策にも多くの方々から共感頂き、「ご期待に応えたい」という思いがさらに強くなりました。

今回、横浜市の中心部、神奈川1区で新党から公認を受け、衆院選への出馬を決意しました。しがらみのない政党・希望の党からの挑戦。ぜひとも、皆様の想いを私、長島一由に結集してください。

長島一由の政策はコチラ→ [長島一由](#)

Profile
元 衆議院議員
元 逗子市長
1967年生・50歳/元フジテレビ報道記者
元リクルート Works 誌編集長/映画監督
早稲田大学卒/東京大学大学院・東京藝術大学大学院修了/横浜国立大学博士課程修了

趣味 釣り、旅行
スポーツ ウィンドサーフィン (1988年全日本チャンピオン)
座右の銘 天才は有限だが努力は無限だ

希望の党公認
長島一由 50歳